

# 再形成

シリーズ～チェンジ～

2016/7/17

# 預言者の時代

- 分裂王国時代
  - ソロモン王の罪によりイスラエル王国は南北（北イスラエル・南ユダ）に分裂した
  - 異教礼拝や偶像崇拝がはなはだしかった
- 「預言者」とは
  - 主に分裂王国時代に活躍した主のしもべ
  - 主からのメッセージを伝えたり、実際に行動したりした
  - 預言書を残した人とそうでない人
    - イザヤ・エレミヤ… / ナタン・エリヤ・エレミヤ

# エリヤの大活躍(列王記一17章～)

- **イスラエル史上最悪の王とその妻**
  - オムリの子**アハブ**は彼以前のだれよりも主の目に悪とされることを行った。…シドン人の王エトバアルの娘**イゼベル**を妻に迎え、進んでバアルに仕え、これにひれ伏した。16:30
- **カルメル山の火の奇跡と大雨の奇跡(18章)**
  - カルメル山で、バアルとアシェラの預言者850人と、どちらが本当の神か争った
    - すると、主の火が降って、焼き尽くす献げ物と薪、石、塵を焼き、溝にあった水をもなめ尽くした。これを見たすべての民はひれ伏し、「主こそ神です。主こそ神です」と言った。18:38-39
  - その後エリヤが祈ると3年ぶりに雨が降った

# 壊れた？エリヤ

- 王妃イゼベルからの脅迫の通知
  - 明日の今頃までにバアルの預言者のようにする！
- 「エリヤは恐れ、直ちに逃げた」19:3
  - あれ程の大勝利をおさめながらなぜイゼベルの脅しを恐れたのか？
  - カルメル山から200kmも離れたユダのベエル・シェバ(荒れ野)に逃げた！
- 主に「殺して下さい」と訴えた
  - 彼は…自分の命が絶えるのを願って言った。「主よ、もう十分です。わたしの命を取ってください。わたしは先祖にまさる者ではありません。」19:4
  - イゼベルに殺されるのを恐れたのに！

# 主による再形成<第1ステージ>

- 休養(睡眠)

- 彼はえにしだの木の下で横になって眠ってしまった。19:5

- 食べ物

- 枕もとに焼き石で焼いたパン菓子と水の入った瓶があったので、エリヤはそのパン菓子を食べ、水を飲んで、また横になった。19:6
- エリヤは起きて食べ、飲んだ。その食べ物に力づけられた。19:8

- 運動と隔離

- エリヤはホレブ山(更に300km)まで歩いた
- モーセが召され、律法を授かった特別な場所

# 主による再形成〈第2ステージ〉

- 神の語りかけ(エリヤに話させる)
  - 「エリヤよ、ここで何をしているのか。」 19:9
    - 主がここに導かれたのに…
- エリヤは自分の気持ちを率直に伝えた
  - エリヤは答えた。「わたしは万軍の神、主に情熱を傾けて仕えてきました。ところが、イスラエルの人々はあなたとの契約を捨て、祭壇を破壊し、預言者たちを剣にかけて殺したのです。わたし一人だけが残り、彼らはこのわたしの命をも奪おうとねらっています。」 19:10

# 主による再形成〈第3ステージ〉

- 風と地震と火の体験
  - 目に見える力の中には主はおられない
- 優しく語りかけられる主
  - 地震の後に火が起こった。しかし、火の中にも主はおられなかった。火の後に、静かにささやく声が聞こえた。19:12 > 主はエリヤのそばに
- 新しいミッション
  - ダマスコと北イスラエルに新しい王を任命する
  - 自分の後継者としてエリシャを任命する
- 慰めの事実
  - しかし、わたしはイスラエルに七千人を残す。これは皆、バアルにひざまずかず、これに口づけしなかった者である。19:18

# 主による再形成

- 壊れた(病んだ)エリヤ
  - 今なら「燃え尽き症候群」+「うつ病」
- 主は人間の心を知り尽くしておられる
  - 人間の心を創造された
  - 心の構造・性質・回復の方法・限界
- 再形成の手法
  - 休養・栄養(睡眠・食事)
  - 原因から離す
  - カウンセリング(気持ちの吐き出し)
    - エリヤ自身を責めたり励ましたりしない



しかし、主よ、あなたは我らの父。  
わたしたちは粘土、あなたは陶工  
わたしたちは皆、あなたの御手の業。

イザヤ書64:7

主は助けを求める人の叫びを聞き  
苦難から常に彼らを助け出される。  
主は打ち砕かれた心に近くいまし  
悔いる霊を救ってくださる。

詩編34:18-19